

地域研修レポート@新城市民病院

名古屋第一赤十字病院

今回の研修では、初診外来や救急、入院管理などを通して、地域の病院ならではの診療形態や病院としての役割、患者層の違い等、多くの事を学ぶことができました。普段の診療では重症例や緊急性の高い疾患に重きを置きがちで、なかなか患者背景や家族にまで目を向けることができていないのが現状です。しかし、目の前の患者がこのまま帰宅して果たして今まで通りに生活できるのかということに関しては、病気の重症度とは必ずしも比例しないということを、今回の研修を通して実感しました。そのため、患者の病気のみならず、普段のADLを含めた生活状況や家族からのサポート環境、住宅環境、患者や家族の希望まで含めて考え治療方針を決定していく必要があります。貴院ではそれを実践されており、この地域住民からの信頼も非常に厚いと感じました。また、そういった方針決定には医師、看護師、リハ、MSWといった多職種の間わりも重要になってきます。普段はなかなかコメディカルの方と深く関わる事ができていないため、毎週の合同カンファレンスも勉強になりました。このように退院後にまでしっかりと目を向けることで、患者や家族との密な関係を築けることも地域医療の魅力だと感じました。

また、院内での研修だけでなく、訪問看護、訪問リハ、介護施設などといった院外での患者サポートの現場も見学させていただきました。急速に高齢化が進んでいる昨今、入院患者以外にもサポートを必要としている人は大勢います。また、老老介護が増えているという現状もあり、今後ますますそういった方が増えてくることが予想されます。我々医師も、このような医療サービスがあってこそ日本の医療が成り立っているということを理解し、連携していくことが大切だと感じました。

私は自治医大生として今後地域医療に携わることとなります。諸先輩方が患者や家族から非常に信頼されており、院内でも中心となって治療に当たっている姿は印象的でした。今回の研修を通して様々な地域医療の魅力を肌で感じる事ができ、自治医大生であることに誇りを持ちました。ただ、現時点ではまだまだ地域住民の方を支えられるような知識も技術もないことを痛感しましたので、今回学ばせていただいたことをしっかりと今後の医療の中でも生かしていき、地域医療に従事する際には今より少しでも戦力となれるよう日々精進したいと思います。

最後になりましたが、指導医の福島先生はじめ、総合診療科の先生方、コメディカルや事務の方々には大変お世話になりました。皆様のお力添えでとても充実した1ヶ月を過ごさせていただきました。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。